

得点		<b>演習問題</b>	実施日	月 日	氏名
		単元名:日本の国のおこり ⑥			

**【1】次の文を読んで、後の問いに答えなさい。**

紀元前3世紀ころ(①)が九州に伝わった。炭化した米が出土した福岡市の板付遺跡は、このころのものである。この遺跡からは、用水路跡や稻穂をつむ(②)も発見されている。

同じころ(③)や(④)などの金属器も伝わった。(③)には剣・矛の武器や銅鏡・(⑤)などがあり、祭器として使用されたらしい。

一方、④は木を削る道具や武器、農具などに使われたが、貴重品であったため、石器や木器が広く使われた。また、うすくかたい(⑥)がつくられるようになった。

①が伝わったころから、古墳が築かれる紀元(⑦)世紀末ころまでを弥生時代と呼んでいる。

弥生時代の人々は、おもに低湿地に水田をつくり、その周辺にむらをつくって定住した。農作業はむら人の共同作業で行われていたらしい。佐賀県の(A)遺跡には、350軒以上におよぶ(⑧)住居や、稻をたくわえる(⑨)倉庫の跡が残されている。

## (1) 文中の()に当てはまる語句や数字を答えなさい。

- ①( ) ②( ) ③( )  
 ④( ) ⑤( ) ⑥( )  
 ⑦( ) ⑧( ) ⑨( )

## (2) 文中のAに当てはまる遺跡名を答えなさい。

( ) 遺跡

**【2】次の文を読んで、後の問いに答えなさい。**

稲作が始まると、計画的な食料の生産とたくわえが可能になった。しかし収穫量はまだ不安定だったので、豊作を祈るむらの祭りが重んじられた。これらの指導者として首長が登場し、支配する者とされる者や(①)の差が生まれてきた。

やがて有力なむらがまわりのむらを征服していくに(国)というまとまりが各地にできた。A 中国の歴史書によれば、漢の時代に日本には100あまりの国があり、それらの国の一には朝鮮半島に置かれた(②)郡に使いを送った。また1世紀半ばには、北九州にある(③)国が漢の都に使いを送り、皇帝から金印をさしだされた。江戸時代にB 博多湾の(④)で発見された金印は、このときのものではないかといわれています。

## (1) 文中の()に当てはまる語句を答えなさい。

- ①( ) ②( )  
 ③( ) ④( )

## (2) 下線部Aの歴史書は、何ですか。

( )

## (3) 下線部Bの金印に刻まれた5文字を答えなさい。

( )

**【3】次の文を読んで、後の問いに答えなさい。**

3世紀の初め中国では(①)・蜀・吳の3国ができ、争っていた。①の歴史書(②)によると、倭国では(③)と呼ばれる有力な国の女王(④)を中心に30ほどの国が連合している、239年には①の皇帝から(⑤)の称号をさしだされた。

## (1) 文中の()に当てはまる語句を答えなさい。

- ①( ) ②( ) ③( )  
 ④( ) ⑤( )

[地図 1]



(2) 右の地図は3世紀ころのようすを表しています。地図中のAは北九州か近畿地方にあったのではないかといわれている③の国です。このころのB・Cの国名をそれぞれ答えなさい。

- B( ) C( )

3世紀末から4世紀初めころ、近畿地方から瀬戸内海沿岸に、小山のように築かれた(①)と呼ばれる墓がつくられた。その多くは円と方形を組み合わせた(②)という形で、5世紀になると大和や河内には応神陵や(③)陵などの巨大なものもつくられた。

これは、この地域の豪族たちが連合して、強力な政権をつくっていたためだと考えられる。この政権を(④)といい、(⑤)と呼ばれる王が治めていた。この政権では、祖先が同じだと信じる人々が(⑥)という集団をつくり、⑤から、臣・連・君・首などの(⑦)を与えられ、代々きまつた仕事についていた。地方の有力な豪族も(⑧)という地位に任じられ、その地域を支配していた。

## (3) 文中の()に当てはまる語句を答えなさい。

- ①( ) ②( ) ③( )  
 ④( ) ⑤( ) ⑥( )  
 ⑦( ) ⑧( )

[地図 2]



4世紀になると朝鮮半島では[地図2]中のBの国が、楽浪郡を滅ぼし、南部には(⑨)・新羅がおこった。④は加羅(任那)に進出し⑨と協力して、他の2国と戦った。倭国と朝鮮との交流が盛んになると、(⑩)と呼ばれる人々が中国や朝鮮から移り住み、各種の技術や漢字を伝えた。6世紀には⑨から(⑪)が伝えられ、儒教とともに信仰や文化に大きな影響を与えた。

## (4) 文中の()に当てはまる語句を答えなさい。

- ⑨( ) ⑩( ) ⑪( )

## (5) 5世紀の朝鮮半島を表した[地図2]のA・Bの国名をそれぞれ答えなさい。A( ) B( )

得点		<b>演習問題【解答】</b>	実施日	月 日	氏名
		単元名:日本の国のおこり ⑥			

**【1】次の文を読んで、後の問いに答えなさい。**

紀元前3世紀ころ(①)が九州に伝わった。炭化した米が出土した福岡市の板付遺跡は、このころのものである。この遺跡からは、用水路跡や稻穂をつむ(②)も発見されている。

同じころ(③)や(④)などの金属器も伝わった。(③)には剣・矛の武器や銅鏡・(⑤)などがあり、祭器として使用されたらしい。

一方、④は木を削る道具や武器、農具などに使われたが、貴重品であったため、石器や木器が広く使われた。また、うすくでかたい(⑥)がつくられるようになった。

①が伝わったころから、古墳が築かれる紀元(⑦)世紀末ころまでを弥生時代と呼んでいる。

弥生時代の人々は、おもに低湿地に水田をつくり、その周辺にむらをつくって定住した。農作業はむら人の共同作業で行われていたらしい。佐賀県の(A)遺跡には、350軒以上におよぶ(⑧)住居や、稻をたくわえる(⑨)倉庫の跡が残されている。

## (1) 文中の()に当てはまる語句や数字を答えなさい。

- ①(稻作) ②(石包丁) ③(青銅器)  
 ④(鉄器) ⑤(銅鐸) ⑥(弥生土器)  
 ⑦(3) ⑧(竪穴) ⑨(高床)

## (2) 文中のAに当てはまる遺跡名を答えなさい。

(吉野ヶ里)遺跡

**【2】次の文を読んで、後の問いに答えなさい。**

稻作が始まると、計画的な食料の生産とたくわえが可能になった。しかし収穫量はまだ不安定だったので、豊作を祈るむらの祭りが重んじられた。これらの指導者として首長が登場し、支配する者とされる者や(①)の差が生まれてきた。

やがて有力なむらがまわりのむらを征服していくに(国)というまとまりが各地にできた。A 中国の歴史書によれば、漢の時代に日本には100あまりの国があり、それらの国の一には朝鮮半島に置かれた(②)郡に使いを送った。また1世紀半ばには、北九州にある(③)国が漢の都に使いを送り、皇帝から金印をさしだされた。江戸時代にB 博多湾の(④)で発見された金印は、このときのものではないかといわれています。

## (1) 文中の()に当てはまる語句を答えなさい。

- ①(貧富) ②(楽浪)  
 ③(奴) ④(志賀島)

## (2) 下線部Aの歴史書は、何ですか。

(後漢書東夷伝)

## (3) 下線部Bの金印に刻まれた5文字を答えなさい。

(漢委奴国王)

**【3】次の文を読んで、後の問いに答えなさい。**

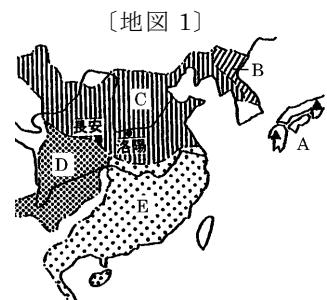
3世紀の初め中国では(①)・蜀・吳の3国ができ、争っていた。①の歴史書(②)によると、倭国では(③)と呼ばれる有力な国の女王(④)を中心に30ほどの国が連合していて、239年には①の皇帝から(⑤)の称号をさしだされた。

## (1) 文中の()に当てはまる語句を答えなさい。

- ①(魏) ②(魏志倭人伝) ③(邪馬台国)  
 ④(卑弥呼) ⑤(親魏倭王)

(2) 右の地図は3世紀ころのようすを表しています。地図中のAは北九州か近畿地方にあったのではないかといわれている③の国です。このころのB・Cの国名をそれぞれ答えなさい。

- B(高句麗) C(魏)



3世紀末から4世紀初めころ、近畿地方から瀬戸内海沿岸に、小山のように築かれた(①)と呼ばれる墓がつくられた。その多くは円と方形を組み合わせた(②)という形で、5世紀になると大和や河内には応神陵や(③)陵などの巨大なものもつくられた。

これは、この地域の豪族たちが連合して、強力な政権をつくっていたためだと考えられる。この政権を(④)といい、(⑤)と呼ばれる王が治めていた。この政権では、祖先と同じだと信じる人々が(⑥)という集団をつくり、⑤から、臣・連・君・首などの(⑦)を与えられ、代々きみた仕事についていた。地方の有力な豪族も(⑧)という地位に任じられ、その地域を支配していた。

## (3) 文中の()に当てはまる語句を答えなさい。

- ①(古墳) ②(前方後円墳) ③(仁徳)  
 ④(大和政権) ⑤(大王) ⑥(氏)  
 ⑦(姓) ⑧(国造)

4世紀になると朝鮮半島では[地図1]中のBの国が、楽浪郡を滅ぼし、南部には(⑨)・新羅がおこった。④は加羅(任那)に進出し⑨と協力して、他の2国と戦った。倭国と朝鮮との交流が盛んになると、(⑩)と呼ばれる人々が中国や朝鮮から移り住み、各種の技術や漢字を伝えた。6世紀には⑨から(⑪)が伝えられ、儒教とともに信仰や文化に大きな影響を与えた。



## (4) 文中の()に当てはまる語句を答えなさい。

- ⑨(百濟) ⑩(渡来人) ⑪(佛教)

(5) 5世紀の朝鮮半島を表した[地図2]のP・Qの国名をそれぞれ答えなさい。P(高句麗) Q(新羅)